

WWF ジャパン発表「企業の温暖化対策ランキング」 機械・精密機器編」で第1位

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本克弘）は、WWFジャパン（公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン）がこの度発表した「企業の温暖化対策ランキング 機械・精密機器編」機械業種で第1位となりましたのでお知らせします。

WWFは、世界約100カ国で活動している地球環境保全団体で、その日本支部であるWWFジャパンは、日本企業の温暖化対策の取り組みを同一の指標を用いて業種ごとに評価するプロジェクトを進めています。この度第9弾として発表された「機械・精密機器編」では、温暖化対策の「情報開示」「目標・実績」について、機械・精密機器に関連する日本企業を対象に行われました。当社は「情報開示」「目標・実績」の双方において高得点を挙げ、総合で第1位となりました。

ナブテスコは、2016年12月に2030年と2050年までのCO₂排出削減の長期目標を策定しました。この目標は、「パリ協定」の「2℃目標」達成に整合するものとして、「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」より承認されています。徹底した省エネ活動をグローバルに展開し、高効率な設備の導入・更新、最新の環境技術を採用した工場建屋の新築・建て替え等、CO₂削減にグループ一丸となって取り組んでいます。

今後もナブテスコは、持続可能な社会の実現に向けて、環境・社会の諸課題の解決に取り組む、さまざまな活動を推進するとともに積極的に情報開示をしてまいります。

（参考：WWF ウェブサイト）

<https://www.wwf.or.jp/activities/activity/3850.html>

以上